

新任の紹介



● 大友陽子先生

令和4年12月に資源マネジメント研究室の助教に着任致しました大友陽子と申します。2015年4月から日本学術振興会のポストドクトラル研究員として3年弱在籍した後、共同資源工学専攻の特任助教→招聘教員と職位を変えながらもう8年目になりますので、スタッフの皆様はお見知り置きかと存じます。専門は地質学・地球化学・岩石鉱物学、微生物学もちょっとだけやります。授業は3年生の環境化学と、佐藤努先生ご担当の2年生の授業「地球科学」を1回担当しています。また今年から海外インターンシップも担当しています。

今年のはじめに大竹先生と共同研究を行ってきた南アフリカ・バーバトン地域で国際陸上科学掘削計画によるコア試料が引き上げられました。9月にはドイツで新しい試料が分配され、新たな研究段階に踏み込みます。他にも色々なプロジェクトが並走しており、かつ自分で立ち上げる準備もあり、忙しくも楽しい日々を過ごしています。私に限らず教員が抱えているプロジェクトは教員だけでは達成できない仕事ばかりです。学生の皆さん、是非手伝って下さい。

● Walubita Mufalo先生

Hello, my name is Walubita Mufalo, and I am 31 years old. I completed my bachelor's degree in Zambia before heading to Moscow, Russia, where I earned my master's in Materials Science at the National University of Science and Technology. I am a doctorate holder in Sustainable Resources Engineering from the Faculty of Engineering at Hokkaido University, Japan, and working as an academic researcher in the laboratory. I will be joining the Environmental Restoration Research Laboratory as a specially appointed assistant professor. My research interests focus on assessing acid mine drainage from mine sites and excavated tunnels using geochemical characterization techniques. This helps me evaluate the impact of the heavy metal release on groundwater resources, nearby rivers, and sediments surrounding mine sites. Furthermore, I am enthusiastic about nature and take pride in appreciating it for a better earth. My experience and knowledge in these areas have prepared me for a career in research, where I can make a positive impact on the world. I am excited about the possibilities that the future holds, and I look forward to working with others who share my passion and enthusiasm.

● 共同資源工学専攻の紹介(プログラムと年間行事)

北大に通いながら九大の講義も受講し、海外の大学や鉱山を訪問して、世界の第一線で活躍する企業の方々とのディスカッションができる、実践的で幅広い資源工学の専門知識を学べるプログラムがあることをご存知ですか？それが共同資源工学専攻です。共同資源工学専攻は日本初の資源工学に関する共同教育課程（修士課程、定員各校10名）として2017年度に開設されました。両大学の得意分野を同時に学び、また両大学から修士の称号が与えられる数少ない教育プログラムです。昨年度（2022年度）からは新たな取り組みとして、20社を超える民間企業および公的機関をメンバーに迎えた教育コンソーシアムを設立し、その支援・協力の下で以下のような特徴的な教育プログラムを展開しています。

- ①九州大学とのエクステンジセミナー：北大の講義に加え、九大の講義をオンラインで受講し、幅広い知識を習得します。7月には九大生が北大へ、10月には北大生が九大を3～4日訪問し、特別講義を受けたり現場視察をします（*）。
- ②国際フィールド調査：世界各国の大学、鉱山、コンソーシアムメンバー事業所等における研修に参加し、国際性を磨きます。（実績：アメリカ、ドイツ、オランダ、スペイン、ギリシャ、オーストラリア、南アフリカ、ジンバブエ、モザンビーク、タイ、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、モンゴル、中国等）
- ③国際人材交流セミナー：世界の各地から集まった資源産出国の留学生たちと共に将来の資源問題についてディスカッションし、課題解決能力を向上させます。
- ④コンソーシアムメンバーによる講義や発表会：資源ビジネスやその関連分野の第一線で活躍するコンソーシアムメンバーが提供する授業を受け、最先端の技術や市場動向・国際情勢を習得し、幅広い分野のマネジメント能力やプロセス全体を考える能力を高めると同時に、自分が将来どのように働きたいのか考えます。毎年冬に東京で開催される発表会（修論中間報告会）では、九大生と共にコンソーシアムメンバーに自らの研究の成果を紹介したり、様々な話題を一緒に話し合ったりして交流します。

様々な年間行事を通して幅広い知識、国際性、課題解決能力に加え、コンソーシアムメンバーとの交流により社会で役にたつ実践的な力を身につけることができます。共同資源工学専攻に皆さん是非チャレンジしてみてください！

● 共同資源工学専攻 年間行事

4月 M1入学

6・7月 M1九大生の北大におけるエクステンジセミナー
九大生の北大訪問(特別講義・現場視察)
国際人材交流セミナー
コンソーシアムメンバーによる講義

8・9月 国際フィールド調査

10・11月 M1北大生の九大におけるエクステンジセミナー
北大生の九大訪問(特別講義・現場視察)
国際人材交流セミナー
コンソーシアムメンバーによる講義

12月 M1東京における北大・九大合同の
修論中間発表

2月 M2修論発表会

3月 M2学位授与式(北大・九大両総長名による
学位記が授与されます)



国際フィールド調査の様子

東京での修論中間報告会の様子

● 資源新研究棟の建設状況

建設予定地で土壌汚染が発覚したことにより建設計画が大幅に遅れておりました資源新研究棟ですが、2022年6月より着工し、2023年9月竣工に向けて建設が進められています。竣工次第、K棟・C棟の実験設備は、新実験棟へ引越することになります。引越し期間中は一時的に実験設備が使用できなくなりますが、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



資源新研究棟の外観イメージ (上)

現在の工事進捗 (R5.05時点) (右)

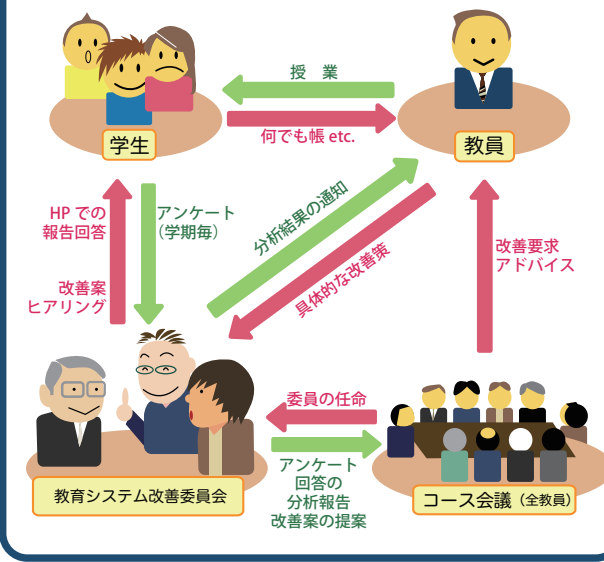
資源循環システムコース
講義評価アンケート返版

第十八号
式千貳拾三年六月号
発行元 教育システム改善委員会

新委員の紹介

資源循環システムコース・教育システム改善委員会の委員長を務めております川崎了です。2023年4月より、当委員会は新たにPARK先生と有馬先生そして川崎の3名体制になりました。よろしくお願い致します。当コースは、北海道大学で唯のJABE認定プログラムであることからわかるように、大学教育に対して真摯に向き合い、取り組んでいます。カリキュラムと授業の継続的な改善を当コース独自に実施するために、定期的に授業アンケートへのご協力を学生の皆さんにお願いし、得られた意見の分析と問題点に対する改善案の提案を行います。当コースの教育に関する意見はいつでも受け付けますので、遠慮なく川崎(E-mail: kawasaki@geoger.eng.hokudai.ac.jp)までお知らせ下さい。今秋には、当コースの教員と学生による意見交換会を開催します。当コースの教育システムや授業内容がよりよくなるように活動していきますので、ご協力をお願い致します。

本コースにおける教育改善のしくみ



年間行事

4月 2～4年生コースガイダンス
国内・海外インターンシップガイダンス

6月 大学祭
資源杯ソフトボール大会

8月 オープンキャンパス
大学院入試

9月 北工会運動会

10月 北工会文化祭

11月 卒業論文中間発表会

12月 研究室仮配属(3年生)
インターンシップ報告会

2月 卒業論文発表会
追い出しコンパ

3月 学位記授与式

新



川崎委員長



有馬委員 PARK委員

Teacher of the Year 2022

● 「流体力学」 原田 周作 先生

● 「コンストラクションマネジメント」 高野 伸栄 先生

担当教員のコメント

年を経るごとに、授業を受けてくれる学生のことをありがたく感じます。昔はそんなと思っていなかったのですが、今はそう思います。よくこんな男の話を90分も顔を向けて聞いてくれるよね。Teacher of the Year 2022に選出して頂き、ありがとうございました。



担当教員のコメント

Teacher of the Year本当にありがとうございます。学生の皆さんに授業を評価してもらえるのは教員にとって、大きな喜びです。コンストラクションマネジメントは、建設の世界を知ってもらうとともに、実際に建設プロジェクトに携わるための知識やマネジメントの方法を学ぶ授業です。これから多くの学生に興味をもってもらえるよう日々発信される情報を取り入れながら、頑張って授業を進めていきたいと思います。

